

学校教育目標	このまちに生き、共に輝く子 ○課題解決に向け、粘り強く取り組む子を育てます(知) ○自分も相手も大切に思いやりのある子を育てます(徳) ○心身共に健康で、あらゆる命を大切に育てます(体) ○人のために役立つ行動をし、地域に愛着をもつ子を育てます(公) ○コミュニケーションの力を伸ばし社会への視野を広げ実践できる子を育てます(開)			
	学校概要	創立 13 周年 児童生徒数: 153 人	学校長 森脇 信行 主な関係校: 上白根北中学校	副校長 髭白 梨香

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	上白根北中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
○ 自ら課題解決に向けて粘り強く取り組む力 ○ 自他の違いを認め、思いやる態度 ○ 自身の役割を果たし、貢献しようとする力	上白根北中学校 四季の森小学校 上白根小学校 白根小学校	○ 自分の思いや考えを表現する子ども ○ 互いを認めあえる子ども ○ 課題解決や目標実現のために粘り強く努力する子ども ・児童生徒が「お互いの違いを認め合える」よう、教職員が人権感覚をみがいたり、特別支援教育への理解を深める。 ・児童生徒が「自らの力で課題解決できる」よう、授業の工夫や改善をする。

中期取組目標	特別支援教育の視点を大切に、すべての子どもが安心して学べる学校をつくる。 ・すべての子どもが安心して表現できる学級風土を育てる。 ・一人ひとりの特性に応じた支援をし、すべての子どもが「できた！」を実感できる授業づくりを目指す。 ・より多くの職員で子どもに関わり、それぞれの子どもの様子を共有する。 ・幼稚園や保育園、中学校との連携を深め、一人ひとりに応じた育ちと学びを支援する。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善	・学習の見通しがもてるように、めあてや授業の流れを明確にする。 ・チャレンジタイム、スマイルタイム、キラキラタイムを通して、「できた！」を実感できるようにする。 ・一人ひとりが安心して学べるように、特別支援教育の視点を取り入れた授業計画を行う。 ・学級の児童の実態把握を丁寧に行い、個に対して有効な手立てを講じることで「できた！」を実感できるようにする。その「できた！」を積み重ね、自信としていく。
徳 なかよし活動	・「なかよし班遊び」や「全校集会」を実施し、異学年交流を通して思いやりのある子を育成する。 ・人間関係の基本を身につけさせるために、児童会活動での挨拶運動や学年に応じた挨拶指導を行う。 ・道徳の授業で語り合いを大切に、思いや考えを伝え合う力を育てる。他教科領域でも多様な考えを認め合う指導を大切にする。
体 健康教育	・体育学習のはじめに走る時間を設定すること、休み時間に外遊びをする機会を増やすこと、委員会活動で縄跳びを推進することを通して体力を高める。 ・保健指導や保健学習、学校保健委員会の活動を通して、基本的な生活習慣の確立や健康な体や心づくりの推進を図る。 ・栄養職員が担任と連携し、家庭科や体育科の保健学習等の学習に携わることで食育を推進する。
公開 地域連携 学校運営協議会	・各学級で地域の方等の力を借りて学習を行い、スマイルランドにその方を招待するなどして、さらにつながりを深める。 ・授業参観やスマイル会議(代表委員会)、スマイルランド(学習発表会)の日に学校運営協議会を開催し、児童の活動の様子を見ていただいた上で、学校運営についての意見をうかがう機会を設ける。 ・サポーターズの方々等の力をかりて、子どもたちと地域がつながる機会を増やす。
いじめへの対応	・児童自らがいじめを自分たちの問題として考え、主体的に話し合う機会をつくることができるよう支援する。 ・「子どもの社会的スキル横浜プログラム」を日々の授業や学校行事の場面で活用するなど、集団の一員としての自覚や自信を育むことにより、互いを認め合える人間関係・学校風土をつくる。 ・日頃からの児童の見守りや信頼関係の構築等に努め、児童が示す変化や危険信号を見逃さないようアンテナを高く保つ。 ・いじめ一斉解決キャンペーン、定期的なアンケート調査や教育相談の実施等により、児童がいじめを訴えやすい体制を整える。 ・いじめの疑いがあった段階で、直ちに全て学校いじめ防止対策委員会に報告・相談し、情報共有と組織的な対応、支援・指導につなげる。 ・学校いじめ防止対策委員会において情報共有を行った後は、管理職のリーダーシップの下、事実関係の確認や、ケースカンファレンスを行い、組織的に対応方針を決定する。
人材育成・ 組織運営(働き方)	・隔月でメンター研修を運営・実施することを通して、学び合い、支え合い、高め合いながら「教職の素養」「マネジメント」「専門性」の資質能力の向上を目指す。 ・隔月で働き方改革委員会を実施し、1年間を通して働き方のハード面とソフト面の改善を行い、学校環境を向上させる。 ・ブロック研を通して、情報を共有したり、見直しをもったり、仕事を分担したり、次年度に引き継いだりできるようにする。
個に応じた指導	・ブロック研等で児童の実態把握を客観的に、個々の教育的ニーズをとらえ、児童自身が自分の成長を実感できるための支援を行う。 ・各学級において、一人ひとりの個性を認め合い、支え合う豊かな心が育成できるようにインクルーシブ教育を実践する。 ・専任のリーダーシップのもと、特別支援委員会の場でインクルーシブ教育実践の実現に向けた身近な取り組み例の提案や研修を行う。 ・児童に実態に応じた適切な指導や必要な支援を検討し、職員全体で共通理解する為の情報発信をする。
安全管理	・学校防災計画を整備し、様々な状況下での避難訓練を実施する。 ・避難訓練、防災教育などを通して、自分の命は自分で守るという気持ちももてるようにする。 ・校内の環境を見直し、安心・安全な環境を整えるよう努力する。
担当	防災・安全部
担当	b9
担当	b10
担当	